

テキスタイル技術系（染織技術科）の教育訓練目標

テキスタイル技術系の構成

テキスタイル技術系 —— 染織技術科（平成 22 年度廃科）

テキスタイル技術分野に求められる人材像

繊維・染色産業は、今後、創造革新型産業に移行する必要があるとされている。そのためには情報の収集と適切な分析、不断の技術開発、先端技術の導入、多様化する消費者ニーズに対応できる商品企画力と多品種少量生産体制への対応等により、新たな商品群を作り出す必要がある。

多様化した時代の要求に応え、高付加価値の商品群を作り出していくには、消費者の求めるものを把握し、特徴ある商品を的確に打ち出せる多様な知識及び技能・技術を持った人材が求められる。

染織技術科の教育訓練目標

染織技術は、常にコストと品質に裏打ちされた国際競争力が問われる産業界において、これらの状況に的確に対応するため、繊維、染色、造形、デザインのみならず、機械、電子、情報等にわたる幅広い基礎知識と技能・技術が要求されるとともに、産業界の変化を常に把握し対応しようとする向上心が必要である。

染織技術科では、このことを踏まえた上で、繊維・染色分野の企画・製造、加工及びマーケット技術等を基礎技術とし、幅広い視野に立って産業界の状況に対応のできる実践技能者の育成を教育訓練目標とする。